



教育実践開発コース
斗澤 晴加

私が教職大学院の進学を決めたのは、教育学部在籍時の教育実習がきっかけでした。実習を終えて、教師になりたいという思いは強くなっていましたが、一方で自分の教師としての実力不足を感じていました。そのため、教師としての資質・能力を高め、自信を持って教職へ就きたいと思い進学を決めました。

教職大学院の授業では、実際の現場に即した授業が行われています。生徒指導の授業では、現職の先生方が実際に経験した事例から学ぶため、より実践的に学ぶことができます。また、現職の先生方と学ぶことで新たな視点に気づくことができました。

そして、授業以外の時間も教員採用試験の対策を行ったり、現職の先生方から実際の現場の話の聞いたりできるため、教師を目指す人にとって最高の環境になっていると思います。